

ハウステンボス美術館に“秘密の花園”が登場  
**アートになった＊花＊展**

～ミュシャからリキテンスタインまで～

**期間:2011年4月23日(土)～6月19日(日)**

ハウステンボス美術館は、2011年4月23日(土)から6月19日(日)までリトポスターや陶磁器、ガラス工芸品などにアートとして表現された花や植物を紹介する「アートになった＊花＊展」を開催します。

「バラ祭」期間中、バラの宮殿として2つのローズガーデンが登場するパレス ハウステンボス。季節の花が咲き誇る『花の王国』の開催にあわせ、ハウステンボス美術館も花や植物をテーマにした“秘密の花園”に変身します。

本展では、19世紀末から20世紀初頭に流行した植物などの曲線美を多用したアール・ヌーヴォーから幾何学的な装飾美術であるアール・デコのリトポスターや、現代の版画作品を中心に陶磁器、ガラス工芸品など合わせ約90点を展覧。17世紀から現代までに制作された作品が並び、昔から人々が愛し続けている花や植物をご覧ください。「花の王国」で華やぐ街並みの中で芸術作品の中に隠された花や植物を見つけて初夏のひと時をお楽しみください。

概要

会期 : 平成23年4月23日(土)～6月19日(日)58日間  
料金 : 600円 (とくとくチケット 又はファミリエ年間パスカード会員の方は300円)  
開館時間: 10:00～19:00(入館は18:30まで)  
会場 : ハウステンボス美術館  
主催 : ハウステンボス  
後援 : 長崎県、長崎県教育委員会、佐世保市、佐世保市教育委員会、長崎新聞社、西日本新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞長崎支局、NBC長崎放送、NCC長崎文化放送、KTNテレビ長崎、NIB長崎国際テレビ、NHK長崎放送局  
協賛 : 長崎短期大学、ヤマト運輸 / 協力 : 北海道立帯広美術館

《催しもの》

① 自動演奏楽器の演奏

● 毎日11:30～、13:30～、15:30～ 各約10分  
⇒本展に展覧されている作品と同時代の自動演奏楽器で、1910年にドイツで製作された“フィオーリーナ”を演奏します。

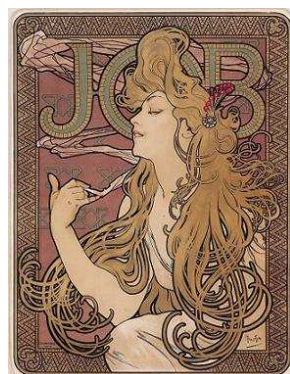
② 学芸員によるギャラリートーク

● 毎週土曜日15:00～15:30  
⇒本展の展覧作品についてわかりやすい解説を行ないます。

③ 音楽タイム

● 14:00～14:30 (5月4日を除く水曜日は休み)  
⇒本展に展覧されている作品と同時代のグランドピアノで、1905年頃ドイツ・シードマイヤーによって制作されたピアノの解説とデモンストレーションを行います。また、日本唯一のヴァージナル付チェンバロの解説、及びデモンストレーションも行ないます。

※ヴァージナル:無脚の小型鍵盤楽器  
※催しものは予告なく変更・中止する可能性があります。予めご了承ください。



アルフォンス・ムリア・ミュシャ  
《タバコ巻紙「ジョブ」》1896年

お客様のお問合せ先:ハウステンボス総合案内センター 0956-27-0001

<http://www.huistenbosch.co.jp>

ご取材、内容に関するお問い合わせ 広報宣伝課 高田・中野・内菌 TEL:0956-27-0180